第 79 回日本栄養・食糧学会大会発表報告

（2025 年 5 月 23 日（金）～25 日（日）　名古屋大学）

修士 1 年生 2 名、学部 4 年生 2 名が第 79 回日本栄養・食糧学会大会で一般演題の発表を行いました。全国学会初参加の学生の感想も含めご報告します。

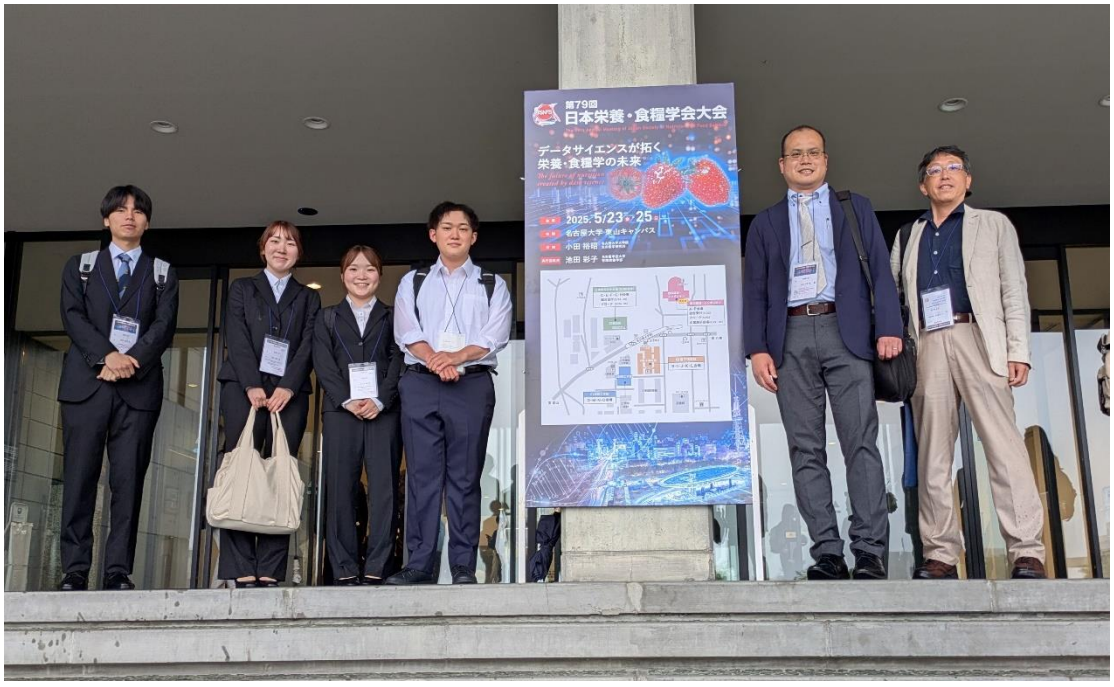
●　発表演題

佐々木　穂（修士 1 年生）
「媛育 83 号の酒粕粉末を使った単群オープン試験 第 1 報：便通改善効果について」

織井　教光（修士 1 年生）
「レチノール摂取量と高尿酸血症との関連：東温スタディ」

澤田　椿紀（学部 4 年生）
「大豆イソフラボン摂取量と糖尿病との横断的関連：東温スタディ」

高田　陽奈（学部 4 年生）
「媛育 83 号の酒粕粉末を使った単群オープン試験 第 2 報：酒粕粉末の摂取方法について」



● 感想

澤田　椿紀

私は『大豆イソフラボン摂取量と糖尿病との横断的関連』について発表しました。本番ではとても緊張してしまい、マイクを手に持って発表するべきところをマイクの高さに合わせて悪い姿勢で発表したり、質疑応答で煮え切らない回答をしたりしてしまいました。発表前段階での発表内容の確認や、パソコンの使い方の確認など、もっと前もって準備ができていたら、心に余裕をもってもう少し落ち着いて発表できていただろう思いました。他の参加者の様々な発表を聴いて、得られることもたくさんあったのでこれからは、今回得ることのできた様々な経験を活かして取り組んでいこうと思いました。

高田陽奈

私は『媛育 83 号の酒粕粉末を使った単群オープン試験　第 2 報：酒粕粉末の摂取方法について』を発表しました。質疑応答に関して、質問と違うことを答えてしまったり、発表の際も緊張して早口になってしまったりと、自分の苦手な部分や今後改善すべき点が多く見つかった学会になりました。他の方の発表を聞いて、質疑応答の仕方だけでなく、スライドの作り方など、今後自分の発表でも参考にしていきたいことを多く学ぶことができました。今回の学会で得た気付きや学びを糧に、今後の研究により一層励んでいきたいです。